

人、地域、企業をつなぐ「福島に“つながる”弁当」を応援

第2ステージ



株式会社コンセプト・ヴィレッジが、ヤフー株式会社と共に開発した福島県産の食材を使った駅弁「シェフのトマトハンバーグ～福島野菜のソテーを添えて～」を、11月21日（土）より株式会社日本レストランエンタプライズの協力を得て、JR 東京駅セントラルストリート「駅弁屋 祭」で販売開始されたのを機に、各社と連携して福島のおいしさをPRします。

2015年11月18日

農業

キリン株式会社（東京都中野区 社長 磯崎功典）は、株式会社コンセプト・ヴィレッジ（福島県郡山市 社長 馬場大治）が、ヤフー株式会社（東京都港区 社長 宮坂学）と共に開発した福島県産の食材を使った駅弁「シェフのトマトハンバーグ～福島野菜のソテーを添えて～」を、株式会社日本レストランエンタプライズ（東京都港区 社長 浅井克巳）の協力を得て、11月21日（土）より JR 東京駅セントラルストリート「駅弁屋 祭」で販売開始するのを機に、各社と連携して福島のおいしさをPRします。

キリンは、東日本大震災の復興支援活動として、2011年より「復興応援 キリン絆プロジェクト」を立ち上げ、活動の一環として「ふくしま復興塾」※に協力しています。

コンセプト・ヴィレッジ社の馬場社長はその受講生として、福島の生産者と消費者が地元の食材を通じて“つながる”ことを目指した「福島に“つながる”弁当」の企画を立ち上げ、2013年より販売を開始しました。福島県産の食材を使用し、首都圏の法人企業向けに販売した第1弾・2弾の弁当が好評をいただき、今回は第3弾として、一般のお客様にも福島のおいしさを伝えるために、販路を広げ発売します。

また、ヤフー社は2012年より宮城県石巻市の特産物を使った「復興弁当」事業を行っており、コンセプト・ヴィレッジ社の“生産者を支援する”という趣旨に賛同し、企画当初から支援協力をしています。

※福島大学、ふくしまうつくしま未来センターが運営し（2015年は、一般社団法人ふくしまチャレンジはじめっぺが運営）福島県の早期復興に向けた次世代リーダー育成プログラム

また、キリンビール株式会社は、今年“いいね！ニッポンの果実。”をキャッチフレーズに、各地域のこだわりの果実でつくった「氷結®」を発売し、地域活性化につながる活動をしています。今回、福島の農業を応援するとともに、福島の豊かな恵み、おいしさを伝える商品として、「キリン 氷結® 福島産 梨＜期間限定＞」も当駅弁とともに JR 東京駅セントラルストリート「駅弁屋 祭」で販売しました。

震災から4年半が経った今、企業間、企業と生産者とシェフとが連携を深め、復興の新しい形として「おいしい福島」を伝えていきます。



笑顔で結ぶ。人を、日本を。